

# 森と海のつながり

～流域から生物多様性を考える～

私たちは、農林漁業等の営みを通じて、森・里・海が連続した空間に、多くの生きものや豊かな自然と共生する地域社会をつくりあげてきました。しかし、人工林や里地里山の管理放棄、河川の水質汚濁、河畔林や湿地の減少、自然海岸の減少等によって、森・里・海がつながりが失われつつあります。本シンポジウムでは、森・里・海をつなげた生物多様性の保全と持続可能な地域づくりについて考えます。



中海から大山を臨む

**2010年9月4日（土）シンポジウム**

場 所／島根県立産業交流会館  
「くにびきメッセ」

主 催／環境省中国四国地方環境事務所  
定 員／100名 参加費／無料



大山頂上からの景観



2010年 国際生物多様性年

## プログラム

12:30	受付
13:00-13:15	挨拶・趣旨説明
13:15-14:00	基調講演(問題提起) 藤原秀晶(山陰中央新報社 論説委員)
14:00-14:15	休憩
14:15-15:30	テーマ別意見交換会 テーマ1「源流域における持続可能な地域づくりの取組」 コーディネーター:伊藤勝久(島根大学生物資源科学部教授) テーマ2「森林域・里地里山における生物多様性保全に向けた取組」 コーディネーター:永松大(鳥取大学地域学部地域環境学科准教授) テーマ3「海における取組」 コーディネーター:石飛裕(NPO法人自然と人間環境研究機構理事長) 話題提供:平塚純一(NPO法人自然と人間環境研究機構理事) 3つの分科会に分かれて、各テーマにおける生物多様性の現状と課題、保全活動の実態、今後の取組のあり方等について意見交換を行います。
15:30-15:45	休憩
15:45-16:45	全体会 コーディネーター:伊藤勝久(島根大学生物資源科学部教授) 各分科会の成果を参加者全体で共有するとともに、今後の流域を軸とした生物多様性保全のあり方についてディスカッションを行います。
16:45-17:00	閉会



ブナ林



ギフチョウ



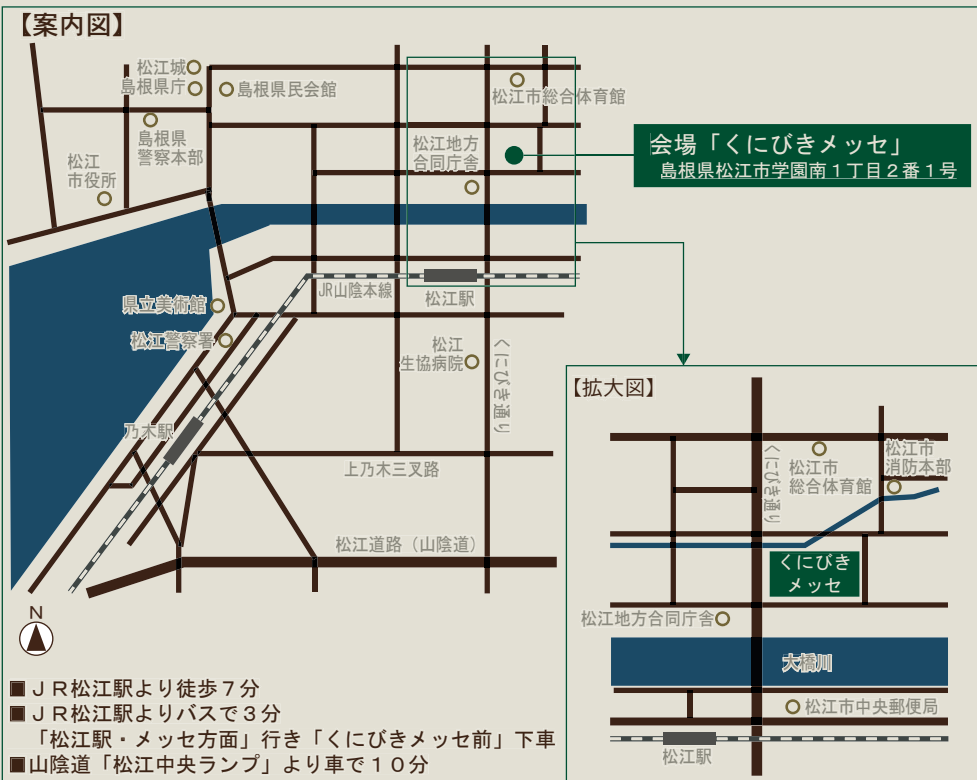
ハナイカダ



コハクチョウ



シジミ漁



参加希望の方は、下記に必要事項を記入の上、FAXまたはE-mail（件名に「森と海のつながり」参加申込みと明記）にてお申込ください。申込〆切は9月2日（木）です。

### FAX申込フォーム

「森と海のつながり」参加申込書			
氏名		参加人数	名
所属			
住所			
電話番号		メールアドレス	

※ご提供いただきました個人情報はこのプログラムの運営のみに使用し、法律に基づき適正に管理いたします。

参加申込⇒ E-mail: [shimane@spacevision.co.jp](mailto:shimane@spacevision.co.jp) FAX: 06-6942-2814